

類義語・対義語・多義語 ①

課題 類義語・対義語・多義語について知ろう。

学習の流れ 教科書P61～62

- 教科書を参考にしながら、プリントの()のところをうめましょう。
- 二枚目の練習問題に、教科書を参考にしながら取り組みましょう。

() 語

似た意味をもつ語のグループ。

例

- 紙を → 裂く(二つ以上に切り離す。)
- 紙を → 破る(引きちぎってためにする。)
- 戸を → ○あける ×ひらく
- 傘を → ×あける ○ひらく

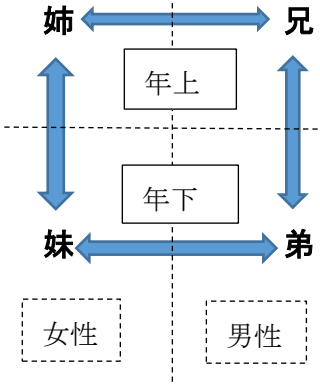


「昨年」と「去年」のよう、表す内容はほぼ同じだが語感の違いも、や、表す意味に微妙な違いのあるものがある。

それぞれの語には使い方の違いがあり、言い換えるか、別の表現にするか、状況や場面で使いかたが異なる。

() 語

意味が反対の関係や対の関係にある二語。



対義語は、どのような観点で対比するかによって変わる。
 例えば・・・兄の対義語は？
 年上・年下なら・・・兄 ↔ ()
 男性・女性なら・・・兄 ↔ ()



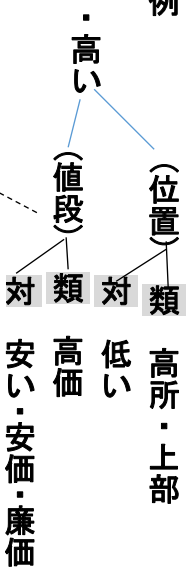
() 語

一つの語で多くの意味や用法をもつ語。

例 () ()には意味が入ります。

- 風鈴を高い所につるす。() ()
- 高い豚肉を買う。() ()
- 鐘の音が高く鳴り響く。() ()

例



多義語の意味は、文脈から考える。

多義語の中には、それぞれの意味に応じた類義語と対義語をもつものもある。

類義語・対義語・多義語 ② 練習問題

1 次の□にA・Bの語をそれぞれ入れるとき、文の内容と合う場合は○を、合わない場合は×を、()に書こう。

- ① ア 本を□。 A閉める() B閉じる()
 イ 蓋を□。 A閉める() B閉じる()
 ② ア 時が□。 A流れる() B過ぎる()
 イ 川の水が□。 A流れる() B過ぎる()

2 次の語の類義語を後から選び、()に書こう。

- ① 欠点() ②改善() ③永遠() ④準備()
 ⑤ 簡単() ⑥著名() ⑦気質() ⑧協調()
 ⑨ 任務() ⑩音信() ⑪駆ける() ⑫案外()

意外 単純 達人 短所 なじむ 進展 輝く 方法 未来 調和
 改良 永久 用意 自然 性格 役目 消息 走る 不意 有名

3 次の()に入る漢字を後から選び、対義語を作ろう。

- ① 以前↑↓以() ②発信↑↓() ③軽視↑↓()
 ④悲観↑↓() ⑤革新↑↓保() ⑥勝利↑↓()
 ⑦許可↑↓() ⑧困難↑↓容() ⑨具体↑↓()

守 重 禁 易 抽 後 受 楽 敗

4 次の語の対義語を後から選び、()に書こう。

- ② 形式() ②薄() ③平和() ④生産() ⑤横断() ⑥明るい()
 ⑦ 個人() ⑧解散() ⑨過去() ⑩原因() ⑪信じる() ⑫開会()

近い 内容 依存 集合 暗い 起床 戦争 集団 疑う 厚い
 雨天 現実 未来 無限 縦断 消費 強い 閉会 疑う 結果 不満

5 次の各文での線の言葉の意味として合うものを下から選び、線で結ぼう。

- ① ア 手と手を握る。 ・ 方法や手段
 イ 大雨が行く手をはばむ。 ・ 方向や方面
 ウ 部屋の掃除に手を貸す。 ・ 手首から指先の部分。
 ② ア 新人に期待を寄せる。 ・ 一か所に集める。
 イ 椅子を机に寄せる。 ・ ある物のそばに近づける。
 ウ 紙くずを隅に寄せる。 ・ 人や物に対してある気持ちをもつ。